

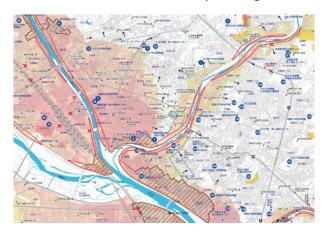
# **Understanding Hazard Maps and Evacuation Routes**

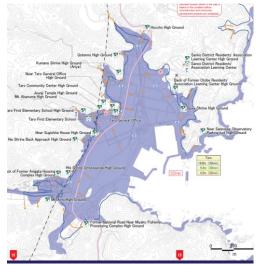
# Objective:

Understand hazard maps so that you can prepare to help non-Japanese speakers Learn practical ways to help foreign visitors in emergency situations

# Hazard map and terminology

Residents of Morioka were given this new map to prepare for potential disasters. What information do you have for the city where you live? Compare hazard maps and see what information you can get.





Exercise 1: Explain the hazards to William!

Exercise 2: Terminology – The following words appear on hazard maps. Can you translate them properly?

避難所	避難場所	高台
浸水区域	床上浸水	床下浸水
堤防が決壊する	体育館	水平避難
垂直避難	がけ崩れ	地すべり
土石流	火山灰	水位
家屋倒壊	地下道	豪雨

# Hokkaido Earthquake – case study

The recent earthquake in Hokkaido posed a lot of questions in terms of disaster-preparedness for hosting foreign visitors. A video from a Kenyan news program and a survey conducted by SRC give you a glimpse of their situation and how they tried to collect information.



Japan earthquake: Death toll rises to 20

#### SRC 自主調査の調査結果について

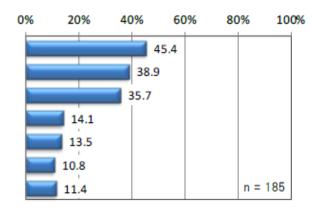
#### 北海道胆振東部地震における訪日外国人旅行者の避難行動に関する調査



# ▼地震発生時にどのように思ったか

「身の危険を感じた」「今後の地震の発生が気になった」が約4割

身の危険を感じた 今後の地震の発生が気になった 旅行日程が心配になった 母国に帰りたくなった 今後の日本国内の混乱が気になった どうすれば良いかわからなかった その他



※回答は2つまで

# Hokkaido Earthquake – case study

#### ▼地震がおさまった後の行動

地震がおさまった後はその場にとどまり「インターネット」「SNS」で情報収集

インターネットやSNSで情報を得ようとした

その場で様子をみた

インターネットやメール、SNSのフェイスブックやライン等で家族や友人と連絡を取りあった

家族や周りの人に声をかけた

テレビやラジオで地震情報を知ろうとした(停電ではあったが)

ホテルのフロント等に連絡・相談した

同行者等に連絡・相談した

ツアーコンダクター等に連絡・相談した

予定通り移動を始めた

家や建物の外に飛び出した

指示された避難所に避難した

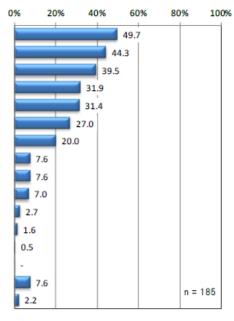
指示のない近隣の空き地などに避難した

車・オートバイ・自転車を停止させた

建物の中に飛び込んだ

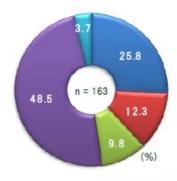
その他

無回答



#### ▼滞在中の宿泊施設での「避難指示の誘導」の有無と「理解」

地震発生時に滞在していた宿泊施設で、避難誘導があったとの回答は38.1%

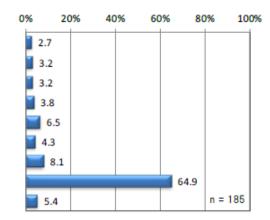


- ■避難誘導があり理解できた
- ■避難誘導はあったが日本語で理解できなかった
- ■避難誘導はわからないが他の客が避難するので避難した
- ■避難誘導は無く自分で避難した
- ■不明

※地震発生時にしていた行動で、「ホテル等宿泊施設にいた」と回答した人のみ

### 【地震発生後に避難した場所】

ホテル前の路上 近隣の公園 近隣の学校 ホテルの駐車場 ホテルから離れた空き地 近隣の公民館等公共施設 その他 避難しなかった

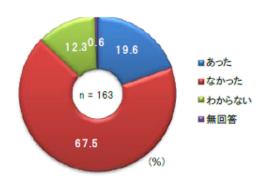


# Hokkaido Earthquake – case study

#### ▼滞在中の宿泊施設の到着時の「避難」についての説明

宿泊施設到着時の避難に関する事前説明は「なかった」が約7割

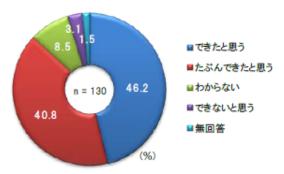
・宿泊施設到着時の避難についての事前説明の有無については、「なかった」が67.5%、「あった」が19.6%であった。



※地震発生時にしていた行動で、「ホテル等宿泊施設にいた」と回答した人のみ

# ▼滞在中の宿泊施設で事前に「避難」についての説明があればスムーズに行動できたか 「事前説明があればスムーズに避難できた」と思う割合は半数近く

・宿泊施設到着時の避難の事前説明が「なかった」「わからない」と答えた人のうち、46.2%が事前の説明があればスムーズに行動「できたと思う」と回答し、「たぶんできたと思う」(40.8%)を合わせると9割近くの旅行者が、事前説明の必要性を感じているようである。



※滞在中の宿泊施設の到着時の「避難」についての説明で 「なかった」「わからない」と回答した人のみ

# Giving direction

Now that we have gone over technical disaster-related terms on the hazard map, let's take a step back and make sure we can smoothly give directions clearly in English. Using this simple map, take turns with a partner asking and giving directions to the specified locations.

# ☆ Useful languages:

Go straight...
Turn left/right at the junction/traffic lights
Go past...
Go over the junction...
Walk/Go along the road until...
The... is on your left/right.
It's opposite...
It's next to...
It's between
Cross...
The... is at the corner of...

While this exercise may seem quite basic, it is important to be able to give clear directions in simple English. We'll do a slightly more challenging direction-giving exercise with a disaster scenario after this!